

専門修練医カリキュラム ー予防健診コースー

概 要

予防健診部は、我が国でもまれな都市部住民を対象とした長期観察研究を実施しており、定期的な健診を通じて、循環器疾患の新たな危険因子を明らかにすることを目指している。また地域住民を対象とした健康教育などの介入研究、健診受診者の特性に関する社会医学的検討循環器疾患の発症登録研究など幅広い活動を行っている。研修では、これらの長期コホート研究・地域疫学研究の実施やデータ解析に加えて、地域住民・勤務者等を対象としたハイリスク者に対する1次予防活動を行うことで、予防の意義と具体的手法を理解することを目指す。

また予防健診部のデータセットを用いた論文作成を通じ、種々の疫学研究データの基本的な解析能力を身につけることを第1の目標とする。また新たな疫学研究・臨床研究をデザインし、実施するための基本的な能力を養成し、将来、疫学的な手法を用いた臨床研究、地域保健や産業保健など公衆衛生の現場での疫学研究において自立した研究者としても活動できる能力の獲得を目指す。

基本的な手技・検査及びデータ解析

1) 基本的な手技

	目標数
・ 診察	400～500
・ 保健指導・健康指導	200～300

2) データ解析

- ・ 吹田コホート追跡データセットの解析
- ・ 疾患発症登録データセットの解析
- ・ 健診受診者の生活環境要因の特性に関する公衆衛生学的解析
- ・ 全国的な疫学共同研究への参画

3) 研究の企画と実施

- ・ 吹田コホート、その他の共同研究の新たな研究計画の企画に関わり、調査票の設計及び研究計画の作成を行い実際に検証する。
- ・ 更に実際の研究に研究協力者等として従事し、実施担当者として関わることで、研究の企画と実施についての実務的な能力を養成する。

研修方法

1) 臨床

診察、結果説明を行う。健康教室（禁煙、メタボリック症候群に対する保健指導など）を計画実施する。またこれらのなかに研究的な視点に基づく新たな調査項目を導入実施する。

2) 疫学研究

- 種々の研究データの解析を通じ基本的な疫学的手法の解析方法を身につける（記述疫学、断面研究、コホート研究、介入研究）。使用するデータセットは吹田コホート、循環器疾患発症登録など多彩なデータセットをもとに、論文執筆を通じて疫学手法を用いた臨床分野および公衆衛生分野の研究者として自立的に活動できる能力の獲得を目指す。
- 国内の疫学共同研究に研究協力者として参画する。
- 国立循環器病研究センターで実施される各種の臨床研究に参加し、臨床的研究への効果的な疫学研究者の関わり方について理解する。
- 住民・勤務者を対象とした生活習慣への介入研究を企画解析する。
- 在籍期間中に筆頭演者として国際学会での発表を行なう。
- 在籍期間中に第1 著者として複数の英文雑誌への投稿・掲載を目指す。

3) 患者受持

年間2000 名前後の受診者があり、部門の医師が分担して健診を実施している。

4) 検査業務

診察、問診、生理機能検査、結果説明など

回診・カンファレンス等の週間スケジュール

曜日	時間	内容
火曜日	午後	健診検討会（毎週）
水曜日	午後	研究討論会（第4）
木曜日	午後	内科集談会
その他		各研究テーマ別検討会 統計手法に関する勉強会や講義 研究班会議への参加 関連学会での発表など